



陸上	(佐賀県SAGAサンライズパーク陸上競技場)
【成年男子】	
▽1000m予選	
「2組」①灰玉平侑吾(八戸学院大) 10秒21 準決勝進出	
「5組」②大上直起(ASUNARO) 10秒29 準決勝進出	
▽同準決勝	
「1組」①大上直起(ASUNARO) 10秒16 決勝進出	
「2組」⑥灰玉平侑吾(八戸学院大) 10秒40 落選	
▽400m障害決勝	
駿太(京都・法大) 48秒97 ②出口(福岡・ゼンリン) 49秒05 ③小田(愛知・豊田自動織機) 49秒21	
▽走り幅跳び決勝	
①安立雄斗(広島・福岡大学院) 7以98 ②津波(沖縄・大塚製薬) 7以89 ③藤原(滋賀・東洋大) 7以84 ④藤原(1st) 7以84 ⑤藤原(1st) 7以84	
【少年男子A】	
▽3000m障害予選	
「3組」⑥奥崎綾太(青森東高) 38秒68 落選	
▽走り幅跳び決勝	
①土屋拓人(宮城・聖和学園高) 7以57 ②追い風参考(武岡千葉・市船橋高) 7以56 ③宮坂(東京・岩倉高) 7以51	



【陸上成年男子100m】準決勝で敗退した灰玉平侑吾(中央)

自己最高更新も 灰玉平決勝逃す

○…陸上成年男子100mで、灰玉平侑吾(洋野町出身、八学大)は準決勝で敗退。「決勝での入賞を意識しすぎて、走りに影響が出てしまった」と肩を落とした。

一昨年は準決勝で敗退し、昨年は左脚を負傷して欠場を余儀なくされたが、今大会に向けてスタートダッシュなどに磨きをかけてきた。

今月5日、前哨戦として福島県内の大会に出

場。10秒26の好タイムで優勝を果たして自信を取り戻し、2年越しに夢の舞台に戻ってきた。

この日は予選2組を1着で通過し、記録も自己最高の10秒21をたたき出したものの、準決勝はまさかの失速。プレッシャーから本来の力を発揮できず、6位に終わった。社会人になっても競技を続ける予定。「これからは10秒1台を目指す。日本選手権ではメダル獲得し、自信を持って国スポの舞台に帰ってきた」と意気込んだ。